

現役生最後の立心会を開催

齋藤毅憲（市大名誉教授）

私のゼミナールのOB・OG生による「立心会」が平成24年12月1日、横浜市中区・関内の横浜バセラリゾーツで開催され約80人が出席しました。現役ゼミ生による開催では最後となります。

乾杯で始まり、私のあいさつ、歓談、OB・OGのスピーチが行われ、懇親を深めることができました。2次会は恒例の関内駅前の「弁慶」で行われ、その時から参加した者を含めて、約70人が楽しい時間を過ごしました。

次年度からは現役生がいなくなるため、赤座順慶君などを中心に6月ごろに開催することにしました。

またゼミのOB・OGなどで行っている勉強会「毅の子（たけのこ）会」（第27回）が同日開かれ、約20人が出席しました。

なお、ゼミ生による最後の「研究発表会」と「毅の子会」の合同研究会は平成25年2月16日、市大ビデオホールで開催されました。4年生の卒論発表のあと、私は「来たるべき日本社会と企業経営」をテーマに話をしました。

パネル・ディスカッションでは、佐々徹氏（横浜商科大学教授）、高木敦氏（モルガン・スタンレー証券）、増田竜雄氏（花王）、西川智恵子氏（雪印メグミルク）、木村有里氏（杏林大学准教授）、奈良堂央氏（横浜商科大学講師）の6人のOB・OGが、このテーマをめぐって議論をしました。60人が研究会に出席、終了後のパーティーも盛会でした。

25年度は中華街で開催

平成25年度の立心会は6月2日、中華街の聘珍樓で開催されました。前年度までは学部ゼミ生が主催していましたが、今年度からは卒業生が担当することになりました。

前年12月に平成24年度の会合が開かれているため、参加者は40人でした。それぞれが近況を話され、楽しい時間を過ごすことができました。

立心会が始まる前、勉強会である「毅の子会」が、中華街近くにある横浜情報文化センターで開かれました。スピーカーは昭和63年卒業の山下弘太郎君（キッコーマン）で、テーマは「成熟市場における企業広報」でした。30人が参加し、最近の企業広報の変化につき、有益な議論を交わすことができました。幹事の赤座順慶君（シスコ・システム）には感謝しています。

以上